

## 《新企画：顧問税理士のコラム その3》 2016年（丙申）の動向 ～国内編～

菊川税務会計事務所  
全部協顧問税理士 菊川 慶規

新しい企画として、旧プライムニュース2月号から顧問税理士のコラムを設けています。5月号の「2016年（丙申）の動向 ～概要編～」に続き、陰陽五行論で今年のビジネスを取り巻く環境について論じて頂きます。全6回のシリーズとなります。（注：原稿は1月20日に受け付けています。）



菊川顧問税理士

陰陽五行論では、国家の憲法施行の年をスタートとして、10年毎に5種類の時代変化を遂げるとしています。日本国憲法は1947年に施行されたので以後50年、5種類の時代を通過してきました。日本国は2巡目の好景気時代を迎えようとしています。火性の巡る年の特徴は、火事が多発しやすいという事です。火の元にはいつも以上の注意が必要な年です。また60年前には日ソ交渉が再開されましたが、今回も日本とロシアとの間で徐々に話し合いが深まる状況が出てくるでしょう。両国の大きな問題である北方領土問題は、そう簡単には解決し難いでしょうが、水面下では何らかの動きが出てきます。この年の生き方のポイントは、できるだけ明るさを保つ事です。

どれほど辛い嫌な事があろうとも、不愉快な顔をしたり辛い顔をしていると、間違いなく運気は悪くなります。そんな時こそ、明るい笑顔を前面に出すことです。この年の十干は丙すなわち太陽なので、いつも以上に明るさを出し、周囲の人に暖かく接すると、大いなる存在からのサポートを得やすくなります。また陰陽五行論では火性は伝達本能を意味します。そこに『申す』という意味の申年が加わりますので、この年はあらゆる場面において、自分の考えや思いをしっかりと発信する事が大切です。自分の想いだけを語ってばかりいたら、対人関係で失敗しますので、まずは人の意見に対して耳を謙虚に傾ける事が必要です。そうした上で、自分の考え方をきちんと伝える事です。また申年には、天からのメッセージが降りてくるという意味もあります。困難に出会った時、迷いが生じた時は、近くの寺院仏閣に出向いて、心を落ち着けてみて下さい。それが開運の道です。歴史に見る丙申の年には、次のような事件がありました。古くは756年に聖武天皇が崩御。996年藤原道長が台頭。1296年、幕府が徳政令を実施。1716年徳川吉宗が将軍職を継ぎ、享保の改革に着手。1836年、三河岡崎藩の農民がコメの凶作と高騰につき領主に反抗。飢餓で死者が10万人出ました。1896年、越前勝山町の函館の大火。これらの出来事を踏まえて考えると、2016年は日露交渉、火災、参議院選挙、教育問題、オリンピック、不作やTPP関連等の農業問題、軽減税率や経済改革などがキーワードになります。

### 知恵の時代の最後の年 ～丙申年の日本国の運気と経済動向～

2016年は陰陽五行論における時代論で分析すると、2007年から始まった知恵の時代の最後の年になり、2017年から経済台頭期に向かいます。今から約50年前の1960年代から、日本は高度経済成長の陽の時代に入りました。歴史は繰り返すと云います。かつてのようなボトムアップの高度経済成長は無いとはいえ、陽の時代に入り、ふるいにかかった経済発展が見込まれるようになります。

それでは 2016 年は日本国の経済にとってどのような年になるのでしょうか。まず為替ですが、この年の基調は若干の円高です。2016 年は 120 円前後が基本ですが一時的に 115 円前後となるでしょう。株は 20,000 円から 22,000 円台あたりでしょう。ただし中国経済の動向次第では一気に 20,000 円を割り込む展開もありそうです。ポイントは中国の経済です。売買は今まで以上に慎重になって下さい。不動産は首都圏においては、ある程度の上昇が見られます。また地方も都市部では安定上昇ですが、都市部を離れたところでは一段と厳しい局面になります。東京オリンピックは 4 年後になりますが、その開催に向けてさらに公共投資が増えてきます。この年は後半から一段と経済が活性化してきます。

今年の政局です。野党の政界再編の動きが出るものの、大きな動きにはならず、野党にとってまだしばらくは辛い時期が続きます。民進党も今の低迷する状況が続くでしょう。2015 年の秋に安倍総理が再選されました。特別なことがなければ、今後 3 年間は安倍内閣が続きます。場合によってはそれ以上続く可能性もあります。今の段階で、野党には総理になれる有力な候補がいません。また自民党を見ても、すぐに後継になれる有力な候補がいません。石破議員が次を狙っているようですが、国のトップになる人には矛盾があってははいけません。そういう意味では石破議員は有能かもしれませんが、矛盾が多いために自民党の総裁になるには大きな課題が多いようです。この年には夏に参議院選挙がありますが、野党共闘が困難な中、圧勝とはいえないまでも、与党が安定した数を確保するでしょう。

次の丙申年の社会現象です。殺伐とした凶悪な事件が多発します。また癌等の悪い病気で亡くなる著名人が増えます。実はその主たる原因はテレビのニュースです。悲惨な事件や著名人の病気や死亡などをマスコミが取り上げるのは当然ですが、それが朝に昼に晩にとすべての放送局から重なって流れると、その情報が発する気が同じ現象を多発させるのです。つまりタレントの癌での死亡のニュースが大きく報じられると、その方のファンや同じ病気になっている人には大きなショックで、それが原因で同じ病気で亡くなるケースが高まります。これを『気の同調』と言います。悪い気の同調は悪い流れを生み出します。しかし逆に言えば良い気の同調、例えば病気を克服したとか幸せになったなどの情報は人々を幸福に導きます。どういう情報を積極的に取るかで、みなさんの今年の運気が決まります。悪い情報の時はテレビを消す。良い情報の時は積極的に聞く。この方法をお勧めします。この年は大きな災害は少ないですが、夏冬の寒暖の差が大きい年となります。場合によっては農家が不作で困る事もあるでしょう。一般の方は気温の差で体調を壊さないよう気をつける必要があります。

つづく